

令和7年度 事業報告書

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団

令和7年度 事業報告書

【運営方針】

当法人は、札幌市における生涯学習の普及振興に資する事業を行うとともに市民の学習活動を総合的に支援し、もって生涯学習の推進に寄与することを目的とし、定款(第4条)に次の事業を行うことを定めている。

令和7年度も、この内容に沿った事業を展開した。

- (1) 生涯学習に関する学習機会提供事業
- (2) 生涯学習に関する活動支援事業
- (3) 生涯学習に関する指導者・支援者の養成・活用事業
- (4) 生涯学習に関する情報収集・提供事業
- (5) 生涯学習関連施設の管理運営事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【事業区分】

実施する事業については、公益目的事業と収益事業等に区分し、以下のとおりとする。

<公益目的事業>

生涯学習普及振興事業

I 札幌市生涯学習センター管理運営事業

- | | |
|------------------|---|
| 1 学習機会提供・活動支援事業 | 2 |
| 2 学習支援者活用・育成事業 | 7 |
| 3 生涯学習センター管理運営事業 | 8 |

II 札幌市青少年科学館等管理運営事業

- | | |
|------------------|----|
| 1 科学及び科学技術普及振興事業 | 12 |
| 2 青少年科学館等管理運営事業 | 20 |

<収益事業等>

- | | |
|-------------------|----|
| 物品販売等事業 | 26 |
| 生涯学習施設の公益目的外貸与等事業 | 26 |

<その他>

- | | |
|---------------|----|
| 中期経営計画 重点取組事業 | 27 |
|---------------|----|

生涯学習普及振興事業

(定款第4条各号に掲げる事業)

I 札幌市生涯学習センター管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、生涯にわたる学習活動を総合的に支援するために、生涯学習センターの管理運営を行う。また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

1 学習機会提供・活動支援事業

(1) さっぽろ市民カレッジ

幅広い年齢層を対象に、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系の各種講座を実施した。

市民のさまざまな学習ニーズに対応するため、生涯学習センター企画講座に加え、ご近所先生（市民講師）やちえりあ学習ボランティアによる企画講座を実施するなど、市民が講座の企画・運営に参加できる機会を提供した。

さらに、市立札幌大通高校を会場として、高校生と社会人が一緒に学ぶ「学社融合講座」では、受講者の世代を超えた交流が図られた。

【講座内訳（単位：件）】

	センター 企画講座	ご近所先生 企画講座	ちえボラ 企画講座	学社融合 講座	講座数計	受講者数
ア 市民活動系	32	0	0	4	36	729名
イ 産業・ビジネス系	30	0	0	5	35	629名
ウ 文化・教養系	6	87	15	10	118	2,284名
合計	68	87	15	19	189	3,642名

ア 市民活動系

まちづくり活動へのきっかけづくりや地域への関心を高めること、趣味や特技を生かして社会参加を促すことを目的とした講座を実施した。

【主な講座】

「巷で話題のビブリオバトルにデビュー」（生涯学習センター企画講座）

「災害時、トイレは一体どうなる！？」（生涯学習センター企画講座）

「ちょっとディープなまち歩き」（生涯学習センター企画講座）

「まちづくりをサイエンス」（生涯学習センター企画講座）

「ヒグマと暮らす札幌の実態」（生涯学習センター企画講座）

「絵本『おぼけのマール』がつなぐ人とまち」（生涯学習センター企画講座）

「心がつながるコミュニケーション」（生涯学習センター企画講座）

「市民活動に役立つインスタ活用法」（生涯学習センター企画講座）

イ 産業・ビジネス系

時代とともに変化する消費者ニーズをつかむマーケティング講座、デザインツールの活用やコミュニケーションスキル、AI活用法など、ビジネススキルの向上や起業につながる講座を実施した。

【主な講座】

- 「思い込みフィルターを外す思考術」(生涯学習センター企画講座)
- 「はじめてのECサイト作成入門」(生涯学習センター企画講座)
- 「書くのが楽しくなる手帳活用術」(生涯学習センター企画講座)
- 「仕事が捗る！急速進化のAI活用術」(生涯学習センター企画講座)
- 「まずは『間借り』からやってみよう！」(生涯学習センター企画講座)
- 「30～40代のためのチームづくり」(生涯学習センター企画講座)
- 「時間をムダにしないSNS集客術」(生涯学習センター企画講座)
- 「売上アップのショート動画作成術」(生涯学習センター企画講座)

ウ 文化・教養系

趣味や教養、生きがいづくりや仲間づくりにつながる講座、現代的な課題をテーマとした講座を実施し、市民の学習意欲の向上を図った。

【主な講座】

- 「外国人とのご近所づきあい」(ちえりあ学習ボランティア企画講座)
- 「いま、現代アートがおもしろい！」(ちえりあ学習ボランティア企画講座)
- 「上手に食べて健康な暮らし！」(ちえりあ学習ボランティア企画講座)
- 「北前船の歴史と遺産」(ちえりあ学習ボランティア企画講座)
- 「日常生活での簡単エクササイズ」(学社融合講座)
- 「ボールペン字入門講座」(学社融合講座)
- 「安全に楽しく使おうSNS」(ご近所先生企画講座/豊平区民センター)
- 「わかる！面白い！大人のための地学」(ご近所先生企画講座/澄川図書館)

● 生涯学習センター企画講座

当センター職員が講座の企画運営等を行うもの。

● ご近所先生企画講座

市民が講師(=ご近所先生)となり、センター職員のサポートのもと、自身の知識・特技・経験を生かした講座を企画し、生涯学習センターのほか、区民センターや地区センター、図書館などで開催するもの。

● ちえりあ学習ボランティア企画講座

市民カレッジの企画に参画するボランティアグループ「ちえりあ学習ボランティア(ちえボラ)」が「アート」「健康」「札幌学」「社会・環境」「歴史」の5つの班に分かれ、センター職員とともに、講座の企画、講師の選定、当日の運営などを行うもの。

● 学社融合講座

市立札幌大通高校を会場に実施する講座で、高校生と一般受講生が共に学び合うもの。受講した生徒には高校の単位が認定される全国的にも珍しい取り組み。

〈連携に関する特記〉

▶ 大学などとの連携講座

大学と連携して互いの特性を生かした講座を実施した。

【実績】

連携先	講座名	受講者数
北海学園大学	「お金の知識で未来をつかめ！」	9組18名
	「ひとりでもできる！簡単男科理入門」	15名
北海道科学大学	「小さいけどすごい！進化する半導体」	26名

▶ 行政機関連携講座

市内の図書館等と連携し、ご近所先生企画講座など、40 講座を実施した。

【実績】

連携先	講座名	受講者数
中央図書館	「すぐに使える『伝わる』文章術」	18名
新琴似図書館	「あなただけのかわいい“あみぐるみ”」	6名
元町図書館	「生きる力をさらに育てる心理学」	11名
東札幌図書館	「学び直しの『基礎英文法』」	14名
厚別図書館	「大人だって絵本を楽しもう」	20名
清田図書館	「生きる力をさらに育てる心理学」	16名
澄川図書館	「わかる！面白い！大人のための地学」	11名
山の手図書館	「タッチセラピー入門」	11名
中央区民センター	「ヨガで整う！あなたの自律神経」	13名
北区民センター	「大人になってはじめる折り紙」	11名
東区民センター	「紅茶から広がる世界」	17名
白石区民センター	「体軸トレーニングで心身を整える」	16名
厚別区民センター	「1日5分！小顔&美肌を顔ヨガで」	10名
豊平区民センター	「はじめてのイタリア語」	8名
清田区民センター	「筋膜をゆるめて心と体を整える」	20名
南区民センター	「己書で彩る楽しいひととき」	14名
西区民センター	「かんたんマジック・はじめての一步」	10名
手稲区民センター	「40歳からの美姿勢ベリーダンス」	14名
東月寒地区センター	「タイ語を話そう」	11名

他

▶ 民間企業などとの連携講座

それぞれの企業の特性を生かした講座を実施し、より専門的で深い知識を提供した。

【実績】

連携先	講座名	受講者数
雪印メグミルク株式会社	「牛のお話と工場探検！」	20組40名
東洋水産株式会社	「子どもラーメン道場」	10組20名
株式会社明治	(午前の部)発見！チョコレートのひみつ	15組30名
	(午後の部)発見！チョコレートのひみつ	15組30名
アサヒビール株式会社	お酒との上手な付き合い方	35名
NoMaps	生成系 AI で企画書作成力を習得	20名

▶ 市民活動団体や専門機関などとの連携講座

市民活動団体や専門機関と企画段階から連携し、現地学習を交えるなど、専門性が高い中でも親しみが感じられるような講座を実施した。

【実績】

連携先	講座名	受講者数
石山大学	「定山溪鉄道跡をたどる」	19名
円山動物園	環境変化と動物保全の未来	25名
土木学会北海道支部	建設中の新幹線車両基地を見学	20名

(2) 生涯学習普及事業

ア ちえりあフェスティバル

札幌市生涯学習センター、札幌市宮の沢若者活動センター、リサイクルプラザ宮の沢、札幌市教育センターの4団体が、合同で生涯学習活動に気軽に触れることができる多数のイベントを実施し、幅広い年代層の市民に対して生涯学習の普及啓発を図った。

【実績】 8/24(日) 3,306名

イ ゆりかごコンサート

音楽に親しむ機会の少ない子育て中の親を対象に、その子どもと一緒に気軽に音楽を楽しんでもらえるコンサートをちえりあホールにて開催した。

【実績】

実施日	出演者	参加者数
3/19(木)	あみゆぜ。	131名

ウ カルチャーナイト (主催:カルチャーナイト実行委員会)

「カルチャーナイト」には毎年度参加をしており、令和7年度は洋画の無料上映会を実施した。

【実績】 7/25(金) 39名 映画上映会 in ちえりあ「世界にひとつの金メダル」

エ 生涯学習支援スペース「ちえテラス」運営

生涯学習支援スペース「(愛称) Chie Terrace (ちえテラス)」で、メディアプラザ職員による「おはなし会」や、市民カレッジ修了生を中心に結成された読み聞かせボランティアによる「えほんのよみきかせ」を実施した。

【実績】

内容	回数	参加者数
おはなし会(メディアプラザ職員)	4回	123名
えほんのよみきかせ(ボランティア)	2回	50名

(3) 学習活動支援事業

ア サークル発表会

ちえりあを中心に市内各地で活動しているサークルの活動意欲の向上と活動の活性化を図るとともに、市民のサークル活動への興味・関心を高めることをねらいとして、各サークルの学習成果を発表する場を提供した。

【実績】

実施日	開催部門	参加団体数	来場者数
11/2(日)~8(土)	作品展示部門	15団体	—
11/4(火)	舞台発表部門(音楽)	34団体	128名
11/5(水)、7(金)、8(土)	舞台発表部門(舞踊)	15団体	713名

※ 作品展示部門はロビーを会場としており出入り自由であったことから、来場者のカウントは未実施

イ ロビーコンサート

市内や市近郊で音楽活動などに取り組む個人や団体に、音楽活動の発表の場を提供するとともに、市民に気軽に演奏を聴いてもらえる機会を提供した。

【実績】

実施日	団体名	来場者数
5/10(土)	Lumora	122名
6/14(土)	村田早・飯田佳代子	114名
7/12(土)	ポロカリーノ	135名
9/13(土)	新川まちづくり協議会 (新川さくら並木の歌保存会)	80名
10/11(土)	Jazz Ensemble Pianissimo	120名
11/15(土)	11色のクレパス	115名
3/14(土)	ポセイ☆どん	122名

(1) 学習指導者・ボランティアなどの養成**ア 市民講師(ご近所先生)育成事業**

ご近所先生企画講座の講師を希望する市民を対象に、説明会のほか、受講者とのコミュニケーションや指導方法など講師のスキルアップを目的とした研修会を実施した。

【実績】 説明会4回 90名(うち2回オンライン)

研修会4回 79名

イ 生涯学習ボランティア育成事業

市民カレッジ講座の企画・運営に当たる「ちえりあ学習ボランティア」(登録 50 名)の活動として、企画内容や運営方法について話し合う定例会を毎月実施した。また、活動のスキルアップにつながる研修会を実施した。

【実績】 定例会12回 研修会3回

ウ 職場体験などの受け入れ

社会教育を学ぶ大学生等の受け入れを行った。また、小・中学校や養護学校、就労移行支援事業所から依頼を受け、施設紹介や仕事体験を行った。

【実績】

実施期間	学校等	参加者数
5/1(木)	北海学園大学	12名
6/24(火)	札幌市立手稲宮丘小学校	103名
8/21(木)~25(月)	天理大学	1名
9/1(月)~30(火)	一般社団法人北海道社会福祉センター 就労移行支援事務所ティオ中央区役所前	1名
9/26(金)	札幌市立手稲宮丘小学校	7名
10/6(月)~10(金)	北海道岩見沢高等養護学校	1名
10/30(木)	札幌市立栄中学校	4名
11/20(木)	札幌市立発寒西小学校	6名

エ 生涯学習関連施設職員等の研修事業

区民センター、地区センター、図書館などの職員を対象に、生涯学習施設におけるチラシ・案内板・告知文などの作成物を Canva で作る実習形式の研修を実施した。

【実績】 3/26(木) 12施設15名

(2) ボランティア等活用事業

ア 学習支援者活用推進事業

市民カレッジの受講修了者で結成されたボランティア団体に学んだ成果を生かしてもらうため、生涯学習センター事業への参画を促した。また、他団体からの依頼を生涯学習センターが受け、各ボランティア団体の活動の場を広げる機会を提供した。

なお、団体の活動内容は以下のとおりである。

(ア) ちえりあビデオクルー

ビデオ撮影・編集を中心とした活動や講座の企画、運営を行った。

【実績】 登録者数11名(内、講座受講後の新規登録1名) 月例会12回 講座企画・運営2講座

(イ) コーラスボランティア

合唱を中心とした福祉施設への訪問や講座の運営補助を行った。

【実績】 登録者数12名 講座運営補助1講座

(ウ) カメラボランティア

写真撮影を中心とした活動や講座の企画、運営を行った。

【実績】 登録者数11名 月例会12回 講座企画・運営1講座

3

生涯学習センター管理運営事業

(1) 施設の貸与

ア 貸室事業

市民の学習活動の場として、ちえりあホール及び各種研修室を条例に基づき有料で提供した。

【実績】

貸室利用件数	貸室利用率
13,952件	77.5%

イ ホール有効活用事業(試行実施)

ホールの閑散期に、60分単位でステージを貸し切り、グランドピアノの弾き比べができる「スタインウェイとヤマハの響きを楽しもう」を実施した。

【実績】 8/18(月)、19(火)、22(金) 14組36名

1/28(水)、29(木)、30(金) 14組38名

2/16(月)、17(火)、19(木) 14組32名

ウ 貸室利用促進事業(試行実施)

アトリエや映像スタジオなど、館内の特徴のある部屋を巡りながら謎解きをする「脱出するゲーム in ちえりあ」を子ども向けと大人向けの2つのコースを設けて実施した。

また、イベントへの集客と賑わいを創出するため、ちえりあ広場ではキッチンカー業者(3者)に出店いただいた。

【実績】 5/5(月・祝) 約700名

エ ロビー・ギャラリーの活用

ロビーにて市民カレッジの講座情報を紹介する展示などを行った。また、一般の団体の作品発表の場などとしてギャラリーを提供した。

【実績】 ロビー10件 ギャラリー9件

オ 学習のための施設開放

市内の高等学校休業期間等に合わせ、前日までに利用申し込みのなかった貸室を学習の場として無料開放し、市民サービスの向上に努めた。

昨年度までは午前・午後・夜間の3区分全てが空いている貸室を開放していたが、今年度からは2区分連続で空いている貸室も開放したことから、昨年度と比べ利用者が約4割増えた。

【実績】 夏季期間(7/23(水)~8/24(日)) 計23日間 727名

冬季期間(11/15(土)~2/28(土)) 計57日間 1,430名

(2) 学習相談・情報提供

ア 学習相談、サークル・講師の紹介

生涯学習に関する相談に幅広く対応し、相談内容によっては「ちえりあ市民講師バンク」登録講師(登録者数 241名)の紹介や、生涯学習センターに登録されているサークルの情報をまとめた「サークルガイド」(掲載サークル数 122 団体)の配付など、市民の学習活動に役立つ情報を提供した。

【実績】

内容	件数
メディアプラザ学習相談	15,484件
ちえりあ市民講師の紹介	45件

イ 広報誌の発行

生涯学習センターの事業や講座、施設の情報などを提供する広報誌「ら・ちえりあって」を発行し、市内の公共施設などで配布したほか、LINE や X (旧 Twitter) を活用した情報配信も行った。

【実績】

内容	件数等
「ら・ちえりあって」4回発行(5月・8月・11月・2月)	各6,000部
LINE 公式アカウント友達登録者数	1,404名
X(旧 Twitter)登録者数	145名

ウ ホームページの活用

講座等の情報、貸室の空き状況、ホールの利用状況等をホームページに掲載するとともに、講座申し込みなどに対応することで、利用者への利便性の向上を図った。また、1月から貸室の利用促進を目的とした貸室の紹介動画を公開した。

【実績】 ホームページアクセス数 85,107件

エ 「さっぽろ生涯学習情報」の発行

市民向けに学習機会を提供している各種施設の主な開催講座等の情報を掲載する冊子「さっぽろ生涯学習情報」を発行し、市内の公共施設などで配布したほか、ホームページ上に掲載して、情報提供を行った。

【実績】 2回発行(8月、2月) 各2,000部

オ 「子どもの学びガイド」の発行

市内の公共施設で開催される子ども向け事業を紹介する案内チラシ「子どもの学びガイド」を制作し、小学校の長期休業前に市内小学校の全児童に配布したほか、ホームページ上に掲載して、情報提供を行った。

【実績】 4回発行(6月、7月、11月、12月) 各90,000部

カ 調査研究事業

市民講師育成事業の成果や市民講師育成プログラムの把握、実効性のある育成・交流の仕組みづくりに活かすことを目的として、平成27年以降のご近所先生講師経験者のうち、メールアドレスを登録している302名にWEBによるアンケートを実施し取りまとめた。

【実績】 回答数104件(回答率34.4%)

キ 生涯学習センター運営協議会

生涯学習センターの事業や運営についての意見を今後の改善に生かせるよう、外部有識者などによる協議会を開催した。

【実績】 3回(8月、11月、3月)

ク 利用者などの声を生かす取り組み

施設の改善やセンターの管理運営に生かすため、講座やイベントの参加者と貸室の利用者を対象に、職員の接遇や施設の総合的な満足度を調査するためのアンケートを行った。

【実績】 接遇満足度:回答数 2,948件 好意的評価の割合 95.6%

総合満足度:回答数 2,943件 好意的評価の割合 97.4%

(3) 図書と視聴覚教材の閲覧・貸し出し及び資料収集並びに管理運営

ア メディアプラザ運営事業

利用者の調べ学習を支援するため、幅広い分野の蔵書約 26,000 冊と、クラシックを中心とした音楽資料（CD）約 13,000 点を閲覧及び貸し出しに供するとともに、市内の他の図書館・図書室との相互の取り次ぎサービスにも対応し、生涯学習における図書等の活用の推進を図った。

また、メディアプラザやちえテラス等での資料の展示や職員の専門性を生かしたレファレンス（相談）業務も行った。

【実績】

内容	件数等
メディアプラザ来場者数	172,099名
カウンター対応者数	57,973名
図書・CD 貸出数	74,791点
図書・CD 予約数	4,898件
レファレンス ※「3-(2)-ア 学習相談、サークル・講師の紹介」の実績の一部	392 件

II 札幌市青少年科学館等管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年の育成を図ることなどを目的として、札幌市青少年科学館及び札幌市天文台の管理運営を行う。また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

1 科学及び科学技術普及振興事業

(1) 科学に関する教室・講座

ア 科学教室

(ア) 日曜実験室

小中学生を対象に、水の表面張力や分光、偏光など、身近な科学現象をテーマにした実験教室を実施した。

【実績】

実施期間	内容	回数	受講者数
4月～6月	「水の秘密いくつ知ってる?～水のふしぎなちから～」	34回	455名
7月～10月	「光と虹の実験室～見える 見えるにじいろもよう～」	44回	501名
11月～2月	「びっくり音の大実験～サウンド・オブ・サイエンス!～」	40回	335名
3月	くるくる まわすと おもしろい!	12回	130名

(イ) 学習実験教室

団体予約で来館する小学4～6年生を対象に、教育課程に沿った内容で水や磁石を扱う実験教室を実施した。

【実績】

実施期間	内容	回数	受講者数
4月	「水」「磁石」「空気」「食塩」「LED」の実験	2回	65名
6月		11回	292名
7月		41回	1,169名
8月		7回	183名
9月		26回	733名
10月		40回	1,136名
11月		33回	898名
12月		14回	392名

(ウ) サイエンジャー科学教室

主に小中学生を対象に、科学を体験的に学ぶ機会を提供した。自主企画のほかに、専門機関や企業などと連携して、より専門的な内容の科学教室を行った。

【実績】

実施日	内容	参加者数
5/24(土)	「AM/FMラジオをつくろう!」/日本無線株式会社北海道支社	18組36名
6/21(土)	「メカトロ教室 走れ!ロボットカー」/日本機械学会	11名
8/30(土)	「大人のためのラジオ工作」/北海道テレコム懇談会	25名
9/20(土)	「おやこでふうせんあそび」(3回実施)	26組53名
10/25(土)	「オトナサイエンス 手羽先から学ぶ運動のしくみ」(2回実施)	10名
11/29(土)	「自分の手で、スマホを分解しよう!」/KDDI 株式会社	15組30名
1/17(土)	「光と影のふしぎラボ」/北海道小学校理科研究会(2回実施)	16名
3/14(土)	「オトナサイエンス むかし 懐かし ポンポン船」(2回実施)	20名

(エ) 科学館の工作室

主に小中学生を対象に、科学原理の理解を深めるとともに、ものづくりへの興味・関心を高めるために、工作教室を実施した。

【実績】

実施期間	内容	回数	参加者数
4月	七色サクラスコープ	15回	225名
5月	ゆらゆらチンアナゴ	21回	278名
6月	ぶらりんこアニマル	15回	170名
7月(7/25(金)まで)	アシカさんのポンポンピングゲーム	12回	146名
夏の特別展期間 (7/26(土)~8/24(日)) 8/31(日)	ふわふわクラゲの七変化	52回	723名
9月	うさぎさんのクルクルもち月	18回	124名
10月	おいつけおいこせ回転木馬	15回	110名
11月	飾ってクリスマスツリー	21回	186名
12月	さっぽろテレビ塔イルミネーション	9回	132名
冬の特別展期間 (1/5(月)~18(日)) 1/25(日)	ふわふわヒコーキと凧	21回	159名
2月	親子で作ろうコリントゲーム	18回	130名
3月	カチカチ振り子	18回	235名

(オ) 大人のための天文教室

9月上旬に起きた皆既月食をテーマにした天文教室のほかに、星の基礎知識などを学ぶ、初心者を対象とした基礎講座「大人のための天文教室(初級編)、中級者向けの「大人のための天文教室(中級編)」をそれぞれ実施した。

【実績】

実施日	内容	回数	参加者数
9/5(金)	大人のための天文教室 ～皆既月食を観察するための基礎講座～	1回	33名
10/10(金)、 17(金)	大人のための天文教室(初級編) ～星空観察の基本を学ぼう～	2回	32名
11/14(金)、 28(金)	大人のための天文教室(中級編) ～これからの天文現象や宇宙事業の今～	2回	34名
2/21(土)	親子で皆既月食を観察してみよう!	1回	34名

(カ) 親子天文教室

小学生とその保護者を対象に、天文分野に関連のある工作と天体観測を組み合わせた天文教室を実施した。

【実績】

実施日	内容	参加者数
8/1(金)	「手作りの望遠鏡で星空を見よう」	18組42名
8/2(土)		11組41名
8/3(日)		17組46名
1/16(金)	「星の光は何色?光を分解して見てみよう」	8組20名
1/17(土)		16組40名
1/18(日)		10組26名

(キ) 宇宙セミナー

宇宙・天文についての興味・関心を高めるため、第一線で活躍する専門家を招き、最新の天文情報に基づく講演会を実施した。第69回宇宙科学技術連合講演会(札幌)の開催に合わせ、同講演会に参加する企業等と連携し、子ども向けのVR教室やミニ講演会も併せて実施した。

【実績】

実施日	内容	参加者数
11/23(日)	VR体験教室「月で生きる未来-VRで月世界旅行へ!」 講師 日揮グローバル株式会社 プリンシパルエンジニア 横山 拓哉	56名
11/24 (月・祝)	月・火星の探査～宇宙や月の暮らしに向けて～ 講師 JAXA 国際宇宙探査センター 事業推進室 主任 鈴木 智美	50名
	月で暮らす未来～宇宙開発から月面社会へ～ 講師 合同会社ムーン・アンド・プラネッツ 代表社員 寺蘭 淳也	75名

(ク) 先端科学技術講座

名誉館長である宇宙飛行士の山崎直子氏の講演会を行い、山崎氏が子どものころに見た星空や、国際宇宙ステーションから見た地球の姿をプラネタリウムで再現した。

【実績】

実施日	内容	参加者数
7/29(火)	山崎直子宇宙飛行士特別講演会「変わりゆく宇宙」	160名

(ケ) 大学生による科学教室

大学生の科学教育研究を支援するとともに、子どもたちの科学への興味・関心を高めるため、学生が小中学生を指導する科学教室を実施した。

【実績】

実施日	内容	施設・団体等	参加者数
2/7(土)	「ホバークラフトのひみつ！」	東海大学	17名
2/14(土)	「浮く？沈む？ガリレオ温度計をつくろう」	北海道情報大学	19名
2/28(土)	「体験しよう！レーザー加工機を使ったデジタルものづくり」	札幌市立大学	18名

(コ) 他施設への職員派遣

他施設や団体からの依頼に応じ、職員派遣や研修受け入れを行った。

a 他施設での実演

【実績】

実施日	内容	施設・団体等	参加者数
6/28(土)	「ちょびっとサイエンスイベント」 (札幌看護医療専門学校 学園祭)	札幌看護医療専門学校	150名
8/6(水)	「2025 サイエンスパーク」	札幌市経済観光局	664名
8/30(土)	「災害対策フェスタ」	アルティウスリンク株式会社	384名
9/19(金)	「厚別区女性部連絡会議研修会」	厚別区女性部連絡会議	19名

b 他施設での投影

院内学級や特別支援学校からの依頼を受け、移動式プラネタリウムを用いた投影を実施した。

【実績】 9/10(水) ひまわり分校 2回 31名

1/21(水) ひまわり分校 2回 20名

イ 出前イベント

(ア) 移動天文台

学校や町内会、青少年育成委員会などからの要請により、職員、天文指導員を派遣し、移動天文車による天体観望や星空解説を行う観望会を実施した。

【実績】 天体観望実施17件 悪天候対応(星の解説)11件 2,355名

中止8件

(イ) 移動プラネタリウム

青少年科学館に来館できない市内の小学校を対象に、移動式プラネタリウムを用いた投影を実施した。

【実績】 14校40回 989名

※ 「1-(1)-ア-(コ)-b 他施設での投影」の実績も含む。

ウ その他科学普及に関する事業

(ア) 科学クラブ(Sci キッズ(さいきっず)友の会)運営

小中学生を対象に会員を募り(R7年度の登録会員数44名)、会員限定イベントの実施や各種講座の情報提供を行い、科学への興味・関心を高められるような事業を行った。

【実績】

実施日	内容	参加者数
5/17(土)	「令和7年度 Sci キッズ友の会開校式」	21名
7/19(土)	「夏の特別展バックヤードツアー」	19名
9/21(日)	「北大ラボ！さわって学ぼう・はくせいとほね」	20組41名
11/22(土)	「宇宙プレミアム！」	11名
12/20(土)	「冬の特別展バックヤードツアー」	12名
2/8(日)	「キラキラ 雪と氷のひみつ」	9名
3/28(土)	「あられ祭り」	11名

(イ) 職場体験などの受け入れ

児童・生徒の教育支援、地域との連携及び市民への科学知識の普及啓発に貢献するため、職場体験等を実施した。

【実績】

実施日	学校等	参加者数
7/8(火)	星槎もみじ中学校	2名
10/10(金)	札幌市立ひばりが丘小学校	8名
10/30(木)	札幌市立栄中学校	4名
11/5(水)	札幌市立幌東中学校	4名
11/13(木)	札幌市立日章中学校	3名
11/14(金)	札幌市立北白石中学校	3名

(ウ) 実験実習セット貸し出し及び制作

小中学校等での効果的な授業づくり等に役立つ実験・実習セットの貸し出しを行った。

【実績】 24団体 35セット

(工) 教員研修

教員を対象に、小学校理科における観察や実験の基礎、指導の実態及び工夫について学ぶ研修を行った。また、展示物を活用した授業展開についての研修を実施した。

【実績】

実施日	内容	回数	参加者数
7/30(水)、8/7(木)、 8/19(火)、1/7(水)	札幌市教育センター専門研修 「学習指導～理科実験～」	4回	72名
8/4(月)	札幌市教育センター専門研修「理科教育に役立つ施設活用 ①体験編、②授業づくり編」	1回	40名

(オ) 博物館実習等の受け入れ

学芸員等の資格取得を目指す大学生等を受け入れ、指導を行った。

【実績】

実施期間	内容	学校等	参加者数
5/16(金)	見学	北海道大学	51名
9/3(水)～7(日)、 9/10(水)～14(日)	博物館実習	日本大学・酪農大学・札幌市立大学	3名
10/24(金)	博物館実習 事前事後指導	北海道大学	3名

エ 共催事業・協力事業

(ア) 「宇宙の日 作文・絵画コンテスト」(主催:JAXA、公益財団法人日本宇宙少年団)

「宇宙の日(9月12日)」を記念して、小中学生から「宇宙に関する作文・絵画コンテスト」の作品の募集を行い、作品展と表彰式を行った。

【実績】 応募作品数 作文6点 絵画77点
作品展 1/5(月)～1/12(月・祝)
表彰式 1/12(月・祝)

(イ) 夏休み天体観望会

定山溪自然の村で、ペルセウス座流星群を観望した。

【実績】 8/12(火) 約120名

(ウ) さっぽろ星まつり

さとらんどを会場に、市民の天文への関心を高めるため、宇宙に関するゲームや工作、天体観望会等を実施した。

【実績】 9/27(土) 約2,700名

(工) 他団体との連携による科学教室

他の団体とも連携し、それぞれの専門性を生かしたさまざまな科学教室・イベント等を開催した。

a 科学分野

【実績】

No.	実施日	内容	団体名	参加者数
1	4/26(土)～ 5/6(火・休)	海上保安官と一緒に”海”を学ぼう!!	海上保安庁第一管区海上保安本部	17,519名
2	8/8(金)、 9(土)	献血セミナー「血液についてみんなで学ぼう」	北海道赤十字血液センター	254名
3	8/17(日)	宇宙天気予報ってなあに？	NPO 法人 気象キャスターネットワーク	14組28名
4	9/13(土)、 14(日)	新さっぽろコスプレフェスタ3	札幌学院大学	270名
5	10/5(日)	ジオ・フェスティバル	ジオ・フェスティバル実行委員会	1,040名
6	11/27(木)、 28(金)	全国理工系学芸員展示研究大会	全国理工系学芸員会議	21名
7	12/6(土)、 7(日)	北海道青少年科学技術振興作品展	北海道発明工夫教育連盟	772名
8	12/19(金)	札幌国際芸術祭メディア向け開催 PR イベント (記者会見)	札幌国際芸術祭実行委員会	—
9	1/10(土)、 11(日)	献血セミナー「血液についてみんなで学ぼう」	北海道赤十字血液センター	約200名
10	1/24(土)、 25(日)	第11回 CISE サイエンス・フェスティバル	一般社団法人ちせ	851名
11	3/29(日)	アマチュア無線ファミリー講座	一般社団法人日本アマチュア無線連名	28名
12	3/25(水)～ 31(火)	木のおもちゃであそぼう ～札幌市立大学地域プロジェクト～	札幌市立大	8,722名

b 天文分野

【実績】

No.	実施日	内容	団体名	参加者数
1	7/21(月・祝)	星つなぎのエリオ公開記念 親子万華鏡づくり教室 & プラネタリウム鑑賞会	株式会社北海道新聞社	10組20名
2	8/31(日)	夏のキラキラ星空ウォッチング	札幌市北区地域振興課	65名

(2) ボランティアなどの育成・活用事業

ア 展示ボランティア(フロアサポーター)の養成

科学について学びたい市民に自己啓発と活動の場を提供した。展示解説に役立つコミュニケーション研修や、科学館事業への理解を深めるため研修会を実施した。

【実績】 登録者数22名

定例研修5回

イ 天文ボランティア養成講座

天文に興味を持っている市民を対象として、望遠鏡の組み立て方や移動天文台での解説方法、接遇など、全6回からなる講座を実施し、天文普及の一翼を担う人材の養成を図った。

【実績】

実施日	内容	受講者
5/17(土)	第1回 講座の目的と概要説明、活動内容説明	25名
5/24(土)	第2回 望遠鏡の原理と使い方	
5/31(土)	第3回 現役天文指導員の体験談、天体の見つけ方	
6/7(土)	第4回 天文普及での効果的な話し方、1分間スピーチ	
6/14(土)	第5回 天体導入の方法、天文知識の勉強方法	
6/21(土)	第6回 普及活動で気を付けることに関するグループ検討、閉講式	

ウ 天文指導員の養成

天文教育の普及を担う人材の養成に向けて、定例研修や天文事業への参加機会を提供した。

【実績】 登録者数47名(今年度の新規登録者数11名)

定例研修9回

(3) 科学に関する情報の収集・提供

ア 科学資料の収集

(ア) 科学技術に関する資料の収集

実演や展示物の解説、展示物の更新・改良の基礎資料とするため、市販の出版物や他施設における発行物などを収集した。

(イ) 天文資料の収集

天文に関する解説資料や出版物に加えて、職員が自ら撮影した天体写真などの資料を収集した。

【実績】 7月 「太陽(プロミネンス)」

9月 「皆既月食」、「オーロラ」

10月 「レモン彗星」

11月 「低緯度オーロラ」

3月 「皆既月食」

イ 科学情報の提供・学習支援

(ア) 「星空散歩」の発行

季節ごとの天体の様子や天文トピックスを掲載した天文情報リーフレットを発行し、市内の公共施設などで配布した。

【実績】 6回発行(5・6月号、7・8月号、9・10月号、11・12月号、1・2月号、3・4月号)

計 40,000部

(イ) 天文相談コーナーの運営

天文指導員が主体となり、1階エントランス内で宇宙空間シミュレーター「Mitaka」を用いた天文解説を行うとともに、観覧者からのさまざまな質問に答える天文相談を実施した。今年度からは大幅に開催頻度を上げ、毎週土曜日に実施している。

【実績】 46回

2 青少年科学館等管理運営事業

(1) 展示関連事業

ア 科学館展示

(ア) 常設展示

「見て、触れて、考える」をテーマに、各コーナーの展示物をより楽しく理解しやすくするよう努め、来館者に科学への興味・関心を深めてもらうための展示を行った。

(イ) 展示実演等

a サイエンスショー

【実績】

実施日	内容	回数	参加者数
4/1(火)~7/31(木)	「あると困る?ないと困る!摩擦力!」	340回	7,125名
5/3(土)~5/6(火休)	特別サイエンスショー 「いろいろなものを飛ばしてみよう」	4回	136名
7/12(土)、7/19(土)	「わっしょい!カラフルサイエンスショー」	2回	90名
7/26(土)~8/24(日)	「わっしょい!お祭りサイエンスショー」 ※ 夏の特別展事業として実施	60回	4,106名
8/1(金)~11/30(日)	「あーした天気になーあれ!」	344回	7,853名
12/20(土)	クリスマススペシャル企画 「いろいろなものを飛ばしてみよう」	2回	100名
12/1(月)~3/31(火)	「流れる空気で ふわふわ ぶかぶか」	312回	6,125名
1/5(月)~1/18(日)	「ぶかぶか しゅわしゅわ 温泉のひみつ」 ※ 冬の特別展事業として実施	13回	822名

1/5(月)~1/18(日)	「わくわく 入浴剤のひみつ」 ※ 冬の特別展事業として実施	26回	954名
2/14(土)	バレンタイン特別サイエンスショー 「ありがとう大作戦！」	2回	92名
毎週土曜日(通年)	「レモンのチカラ」 ※ ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社との連携	200回	6,131名

b ちょびっとサイエンス

土曜日・日曜日・祝日に展示室の入口付近のカウンターで簡単な科学実験や実演を行った。
また、夏の特別展期間中(7/26(土)~8/24(日))は特別展示室内のブースで毎日実施した。

【実績】

実施期間	内容	回数	参加者数
4月	うずまきのイリュージョン	9回	5,668名
5月	振動パワー！水が噴き出す噴水魚洗	11回	3,533名
6月	マイクロスコープで小さな世界の発見！	9回	1,404名
7月(7/25(金)まで)	あっとおどろく！？カガミのせかい	7回	1,217名
夏の特別展期間 8/30(土)~31(日)	ふわふわ・ひらひら 水と氷のふしぎ ※ 夏の特別展事業としても実施	32回	12,935名
9月	どんどんとける！熱伝導	10回	1,114名
10月	動き出すゼロハン	9回	1,325名
11月	くつつく？はなれる？じしゃくでじっけん	12回	1,523名
12月	ペットボトルでたつまきをつくろう	6回	1,431名
1月	水に浮くもの、沈むもの	8回	862名
2月	シャボン玉ファクトリー	10回	1,962名
3月	IC カードのひみつ	10回	1,086名

c 低温プレイグラウンド

-30℃の低温展示室内で、氷等を使った実演・体験を行った。

またゴールデンウィーク期間には、送風機により風を送ることで通常よりも寒さを強く感じさせる「超低温プレイグラウンド」を実施した。

【実績】 通常実施 1日4回(定員 各回30名程度)

超低温プレイグラウンド 4回96名

(ウ) 実験・実習への協力

a 学習サイエンスショー

【実績】

実施日	対象・内容	回数	参加者数
6/11(水)	「すごいな空気」(平岡小学校)	1回	45名
9/9(火)	「すごいな空気」(新琴似南小学校)	1回	68名
11/27(木)	「すごいな空気」(発寒南小学校)	1回	76名
2/27(金)	「すごいな空気」(ひまわり分校)	1回	5名

b 教育支援センター宮の沢オンラインコース

札幌市教育センターからの要請を受けて、不登校児童・生徒を対象にしたオンライン授業に協力した。

【実績】 11/12(水) 7名

2/3(火) 7名

イ 特別展等

(ア) 特別展

小中学生の長期休業期間に、特定のテーマを深く掘り下げた体験型展示を開催した。

【実績】

実施期間	内容	来場者数
7/26(土)~8/24(日)	夏の特別展「へんしん!かがく屋台」	59,109名
1/5(月)~1/18(日)	冬の特別展「Oh!ふる展~秘湯 科学のゆ~」	12,083名

(イ) 環境科学展

企業や団体と連携し、環境問題と対策技術の現状などについて、子どもたちにわかりやすく紹介する科学展を開催した。

【実績】 11/1(土) 997名

(ウ) 中高生によるサイエンス広場

中学校や高等学校の科学部等に、研究成果を発表する機会を提供するとともに、生徒が企画・運営する科学体験ブースを設け、来場する子どもたちが体験できるイベントを開催した。

【実績】 12/6(土) 1,257名

(2) 天文関連事業

ア プラネタリウム投影・解説

(ア) 一般投影

職員による解説を含む投影で、年齢や理解度に応じて柔軟に対応し、市民にわかりやすい星座、天文の解説を行った。4/12(土)には、開館以来のプラネタリウム入場者数が累計で500万人に達した。

【実績】 1,390回 121,822名

(イ) 学習投影

小中学校を対象に、学習指導要領及び各学校の教育課程を踏まえ、理科授業の一環として、天体の動きなどを学習するプラネタリウム投影を行った。

【実績】 155回 19,841名

(ウ) オート番組制作

プラネタリウム投影時に上映するオリジナルオート番組(ドーム全体に投影されるアニメーション動画)を青少年科学館の特色・独自性を生かして制作した。また、市販の番組上映権を購入し、プラネタリウム投影の充実を図った。

【実績】 「月の教室－見る・考える・分かる－」(オリジナルオート番組)

他番組上映権購入3本

イ プラネタリウム特別投影

(ア) 特別投影

通常のプログラムとは趣向を変え、タイムリーな話題や現象を深く掘り下げるなど、普段とは異なる切り口から企画した特別な投影を行った。

【実績】

実施日	対象・内容	回数	参加者数
8/16(土)	「七夕特別投影 ねがいごとプラネタリウム」	1回	176名
11/8(土)、9(日)	ほし×こえ～声優星空プラネタリウム朗読会～	4回	717名
11/30(日)	熟睡プラ寝たリウム	1回	119名
2/7(土)、8(日)	SNOW MIKU ナイトプラネタリウム ～Twinkle Stars Harmony♪5～	4回	661名

(イ) 字幕付きプラネタリウム

耳の不自由な方々にも楽しんでもらえるように、字幕付きの投影を行った。

【実績】 11/15(土)、16(日) 2回 307名

(ウ) キッズプラネタリウム

親子でプラネタリウムを楽しんで頂けるよう、未就学児とその保護者を対象とした投影を行った。昨年度は2回のみの実施だったが、今年度は隔月で実施した。

【実績】 5/15(木)、7/17(木)、9/18(木)、25(木)、11/20(木)、1/22(木)、3/19(木)
7回 609名

(エ) プラネタリウム祭り

プラネタリウムの魅力を広く市民へ伝えるために、オーロラの観望記録映像や、ドーム映像作家のアート作品の上映を行ったりするなど、普段行わない特別な内容の投影を数日にかけて実施した。

【実績】 12/6(土)、7(日)、13(土)、14(日) 3,496名

ウ 天体観望事業

(ア) 科学館観望会

科学館公園や館の玄関前、駐車場や屋上など館の敷地を活用し、誰でも気軽に参加できる天体観望会を開催した。望遠鏡を用いて各季節の星や月の観望を行い、天体に対する興味関心を喚起した。

【実績】 8/16(土)、11/30(日)、3/3(火) 3回 約400名

(イ) 札幌市天文台公開

天文に関する興味関心を高めるため、札幌の中心部にある中島公園内の札幌市天文台を公開し、日中は太陽を中心に、夜は月や季節の星座を中心に観望会を実施した。

【実績】 633回 26,586名

(ウ) 昼間の星を見よう！

青少年科学館正面玄関前に望遠鏡を立て、開館時間中に日中の太陽や金星等の様子を観望する会を実施した。

【実績】 18回

(3) その他施設運営

ア 「科学館ニュース」の発行

青少年科学館の行事を掲載した広報誌を発行し、市内の公共施設、幼稚園、小中学校などに配布し、市民への情報発信に努めた。

【実績】 12回 計79,000部

イ 科学館運営協議会の開催

青少年科学館の事業や運営についての意見を今後の改善に生かせるよう、外部有識者などによる協議会を開催した。

【実績】 3回(7月、11月、2月)

ウ 利用者などの声を生かす取り組み

青少年科学館の運営や事業に活かすため、利用者へのアンケート調査を行った。

【実績】 接遇満足度:回答数 1,804件 好意的評価の割合 89.5%

総合満足度:回答数 1,804件 好意的評価の割合 91.6%

エ 科学館開館記念感謝デー

昭和 56 年 10 月の青少年科学館の開館日に合わせて、館内をめぐるクイズラリー等を行った。

また、開館以来の来館者累計 1,500 万人達成を記念して、セレモニー等を行った。

【実績】 10/4(土) 1,400名

物品販売等事業

(定款第 4 条第 1 項第 6 号に掲げる事業)

(1) 売店の運営

青少年科学館の来館者へのサービス向上を目的として売店事業を行った。商品ラインナップの強化や販売促進を行い、増収増益を図った。

(2) 自動販売機の設置・販売

生涯学習センター、青少年科学館ともに、来館者へのサービス向上を目的として自動販売機の設置を行った。

(3) 飲食店の運営

生涯学習センターの「Chie Terrace(ちえテラス)」における飲食店運営をタリーズコーヒージャパン株式会社に委託し、来館者への飲食等提供事業を行った。

また、ちえりあ前広場を有効に活用するため、キッチンカー業者(3者)に出店を依頼し、ゴールデンウィークのイベントで飲食を提供した。

生涯学習施設の公益目的外貸与等事業

(定款第 4 条第 1 項第 5・6 号に掲げる事業)

(1) 施設の貸与

企業などの利用を含む公益以外の目的に対し、ちえりあホール及び各種研修室を貸与した。

(2) 駐車場管理業務

生涯学習センターで駐車場の管理運営を行った。 ※ 天井工事のための 8/29(金)~9/1(月)の間閉鎖

(3) 施設管理受託業務

札幌市生涯学習総合センター内の札幌市教育センター、札幌市宮の沢若者活動センター、リサイクルプラザ宮の沢などの警備・清掃業務を行った。

中期経営計画 重点取組事業

中期経営計画は、令和6年度～14年度の9年間で指定管理期間に合わせて2期に分け、令和6年度～9年度を経営的に「凌ぐ」とともに令和10年度以降に「備える」期間(第1期)と、令和10年度～14年度(次期指定管理期間)を「第1期の備えをカタチにする」期間(第2期)とそれぞれ位置付けている。

政策体系としては、経営ビジョンの3点に「安定経営を目指す」を加えた4本柱とし、これらの柱に8つの「重点取組事業」をひもづけている。

8つの「重点取組事業」の内容および令和7年度の取り組みは以下のとおりである。

1. さっぽろ市民カレッジあり方検討事業

時代や環境の変化に合わせて市民カレッジの体系や運営方法などについて検討を加え、見直しを図る。

【令和7年度の取り組み】

10月に検討に着手し、現状を踏まえた課題などについて議論を行った。

2. メディアプラザあり方検討事業

メディアプラザに期待されている役割など、そのあり方について検討を加え、見直しを図る。

【令和7年度の取り組み】

10月に検討に着手し、現状を踏まえた課題などについて議論を行った。

3. 青少年科学館魅力アップ事業

リピーターの確保や新規来館者の開拓に資するよう、事業や展示物の充実を図る。

【令和7年度の取り組み】

プラネタリウムにおいて、アニメキャラクターを起用した番組や声優による朗読劇などを展開し、集客に努めた。

4. 生涯学習センター貸室利用促進事業

より多くの方々に学びの場を提供するため、貸室に係る情報発信の強化や利用者にとって魅力あるサービスの提供に取り組む。

【令和7年度の取り組み】

各部屋の特徴や利用方法などを紹介する動画をホームページに掲載し、情報発信の強化を図った。

また、ホールでのピアノの弾き比べやゴールデンウィークの謎解きイベントなどの集客事業をスポット的に実施した。

利用率が低いアトリエやコンピュータ研修室については、移動式の鏡の設置やプロジェクターの改善などを行ったところではあるが、いずれも利用率を大きく向上させるには至っていない。

5-(1). 生涯学習センター利便性向上事業①

市民カレッジの申し込み手続きの簡素化に取り組み、利用者の利便性向上を図る。

【令和7年度の取り組み】

システム改修の費用を抑えるため、既成のシステムを購入しカスタマイズを加える手法を採ることとした。

5-(2). 生涯学習センター利便性向上事業②

生涯学習センターにおける施設使用の受付手続きの見直しに取り組み、利用者の利便性向上を図る。

【令和7年度の取り組み】

9月に新たな貸室予約システムを導入し、WEB上での予約やクレジットカード、コンビニエンスストアでの決済が可能となった。

WEB予約の割合:19.0%
クレジットカード、コンビニエンスストアでの決済の割合:8.6%

なお、導入前後には、職員を対象とした操作研修を複数回実施している。

6. 青少年科学館利便性向上事業

団体向けオンライン予約や当日券販売における自動券売機、キャッシュレス支払いの導入など、スムーズな来館者受付手続きを進め、利用者の利便性向上を図る。

【令和7年度の取り組み】

経営的に導入が厳しい状況であり、中期経営計画の「進捗管理」の考え方に則り、導入を延期することとした。

7. 自立型職員育成事業

職員一人ひとりについて、「人材育成基本方針」における「目指す職員像」を意識させ、自立型職員へと成長させていく。

【令和7年度の取り組み】

係長職について、目標管理を実務に即して習得することができるような研修を実施した。

また、プロパー職員を対象に「100問アンケート」を行い、その結果を活用して、2月・3月に係長職・一般職向けの集合研修をそれぞれ実施した。

8. 経営安定化推進事業

今後見込まれる赤字幅の圧縮、解消を目指し、さまざまな経営安定化に向けた取り組みを進めていく。

【令和7年度の取り組み】

財団の赤字要因を分析し、これを当財団の努力によって解消すべきものと、札幌市に手当を求めるべきもの（当財団では如何ともし難いもの）に分け、後者については、他団体と連携の上、札幌市（総務局改革推進室）に要請を行った。

しかしながら、最近の札幌市の財政状況に鑑みると、札幌市からのさらなる支援は期待すべきではなく、今後の経営安定化については、財団の事業規模、職員の採用戦略とも関連させながら検討していく必要が生じるとの認識に至った。

この状況変化に財団として適切に対応するため、経営安定化に向けた取り組みを財団全体で検討することのできる体制を構築することとした。

このほか、次期指定管理に向けた仕様書の見直しについて、札幌市との協議に着手した。